

平成25年度

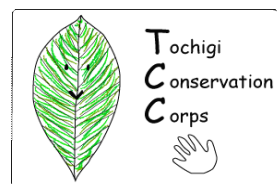
平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日

事業報告書



特定非営利活動法人

トチギ環境未来基地



はじめに

平成25年度も多くの方々のご協力に支えられ無事一年間の活動を終えることができました。

若者たちによる自然環境の保全と、活動を通じて次の時代を担う若者の育成を目的に、Conservation Corpsプログラムを活動の柱として様々な活動に取り組みました。

自然環境の保全活動に取り組むということは、単に自然を守るということではなく、ライフスタイルの見直しや、自分と地域との関係性、働くということを見つめ直すことにもつながるということを実感一年でした。

また新規事業もスタートし、ボランティアでどれだけのことができるのか、ということも改めて考えた一年でした。数ヘクタールの整備をすることが精一杯な現状で、これからより成果を上げていくためには、新しい「仕組み」を考える必要があると思いました。NPOとして、ボランティアの力を中心に据えた新しい仕組みです。

活動也多岐にわたってきました。

本当に社会にインパクトを与えることが出来る活動は何か、ということを問い直し、選択と集中を行っていきたいと思います。

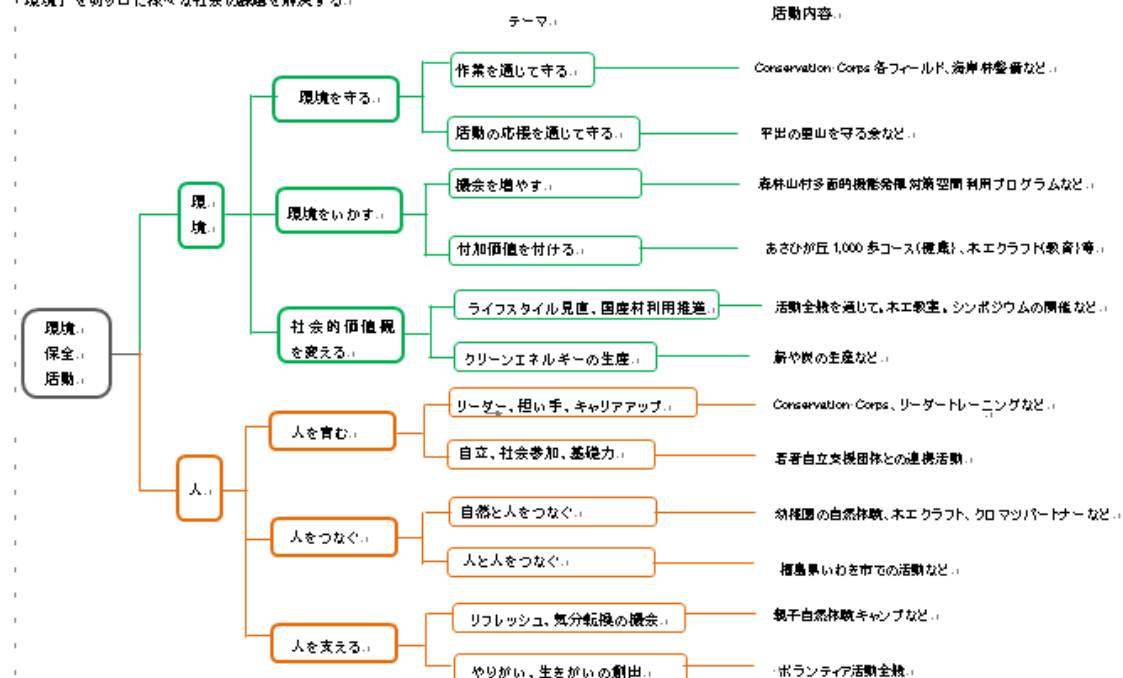
一年間全力で活動を行いたくさんの成果が生まれました。また、新しい課題設定ができました。これが今後の発展の原動力になると信じています。

活動テーマ

「環境」を切り口に社会の様々な課題を解決する

□□□□□□□□NPO法人トチキ環境未来基地□□□□□□□□活動テーマ区分と活動内容の整理

「環境」を切り口に様々な社会の課題を解決する



平成25年度の主なニュース

- ① Conservation Corpsプログラム2013春 第7期（5月20日～7月19日）
Conservation Corpsプログラム2013秋 第8期（10月3日～11月20日）

が、無事に終了しました。

平成25年度は、スタッフの大木本が米国のConservation Corpsに長期間研修にいったため、運営体制が変更になりました。それにともない、期間を通常よりも短くしての実施としました。
今年度もよいメンバーに恵まれ、有意義な活動となりました。

- ② 苗木 for いわき プロジェクト、協力拡大。寄付も1次目標額達成。上方修正！

2年目となるいわき市の海岸林再生事業「苗木forいわき」プロジェクトも、多くの方々のご協力をいただき無事1年間活動を終えることができました。活動の財源となる寄付額も、苗木を育てていただくクロマツパートナーさんの数も、現場で整備活動を行うボランティア参加者の数も当初の目標を大きく上回る結果となりました。

年度の途中で、プロジェクトの目標を上方修正しさらに大きな活動になるように計画を直しました。

- ③ 森林山村多面的機能発揮対策交付金事業など新たな取り組みもスタート

林野庁の新たな事業である森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業に参加し、活動に取り組みました。茂木町竹原の荒れた竹林2.8haの整備をボランティアのみなさんと進めました。また、森林空間利用プログラムとして、森林学習や、森林ボランティア体験プログラムを6回開催しました。

本格的に補助事業に取り組むことで、新しい学びの機会やこれまでの活動の見直しをする良い機会にもなりました。

活動実績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

活動日数 201日
参加者数 2,635人／日

（栃木県内での活動:138日、1,028人／日 いわき市での活動:63日、1,607人／日）



活動で共に汗を流したみなさん、ありがとうございました！

栃木県内での活動

創造の森<宇都宮市下栗>

森の整備作業と、幼稚園の子どもたちとの自然体験活動を行いました



10,000歩コースづくり 山下川・あさひが丘整備 <宇都宮市平出>

あさひが丘がほぼ完成！
展望台や、すべり台、水車も
できました。
里山祭りなどイベントも開催
しました。



子どもの森（高根沢町）

森の整備作業と、
春の自然体験活動を行いました。
秋のリーダー研修の
フィールドとしても活用しま
した。



竹林整備<茂木町>

森林・山村多面的機能発揮対
策事業として取り組みました。
2.8haの竹林の整備をすすめ
ています。



Conservation Corpsプログラム

Conservation Corpsプログラム2013春 第7期（5月20日～7月19日）

参加者：4名

外国人ボランティアの参加がなく、初めての日本人だけの開催となりました。

主な活動

- ・創造の森の整備、子ども達との自然体験プログラムの企画運営
- ・竹林の整備・あさひが丘の整備、遊具づくり・NPOについての学習など



Conservation Corpsプログラム2013秋 第8期（10月3日～11月20日）

参加者：3名

全期間参加者はインド、インドネシア、日本人の3名での開催となりました。

主な活動

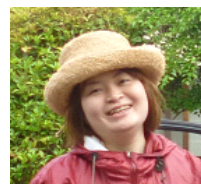
- ・創造の森の整備、子ども達との自然体験プログラムの企画運営
- ・竹林の整備・あさひが丘の整備、遊具づくり・NPOについての学習など



参加者の感想

豊海 芙美 さん（2013年春参加）

プログラムに参加しなければ出逢うことのなかった人たちと会って、いろんな話や活動を通して成長できたと思います。ワークを通じて、様々な課題に対しての具体的な動きをもってどう改善していくのかを考えることを学びました。苦手と思っていた子どもと接して、かわいいなあと感じるようになりました。また共同生活においては、我を張るのではなくみんなの意見も尊重しつつ自分も出していくことが大事だと学びました。これからも継続して、自然環境保全や森に関わることに関わっていきたいと思います。



Parshant Jain（インド出身 2013年秋参加）

トチギ環境未来基地のプログラムに参加してよかったと思います。いろいろなことが勉強になったと思う。今までしなかったこととか知らなかったこととかもできるようになった。例えば、竹の切り方やなたとノコギリの使い方等を初めて知った。ワークとイベントなどに参加するのは本当によかったと思う。そして一番楽しかったと思うのは、一緒に活動してくれた人たち。みんなはいつも親切にしてくれた。そしてワークの時だけでなく、一緒に生活したことも楽しかった。本当に本当にありがたいと思う。私にとってみなさんと生活するのは家族みたいな感じがした。いつもいろいろ教えてくれてありがとうございます。作業と生活を通して、自分のまだまだ成長できることがはっきりわかるようになってきた。これからも、もしいつか一緒に活動できたらいいなと思う。



森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

茂木町竹原地区の竹林と里山で、森林・山村 多面的機能発揮対策交付金事業に取り組みました。

2.8haの竹林の整備を進めています。これまでの活動よりもより整備による成果を重視した事業で、作業スピードも意識した作業となっています。

Conservation Corpsで取り組むとともに、週末を利用したボランティア合宿なども行い、広くボランティアを募集し実施しました。



若者自立支援団体との連携による森と人を育む事業

とちぎ若者サポートステーション、とちぎ県南若者サポートステーションの集中訓練プログラムの、合宿プログラムの受入を4回行いました。共同生活をしながら、森で活動したり、体を動かしたりしました。



栃木県に避難している親子の自然体験キャンプの実施

7月、8月、12月に1泊2日の親子自然体験キャンプを開催しました。夏は川や山で遊ぶプログラムを中心に、冬は木工クラフトなどを行いました。子どもたちはとても元気で、のびのびと外で遊ぶことができました。



また夏休み期間中には、NPO法人育て上げネットが実施する、東京の子どもたちのサマーキャンプの受入を行いました。勉強もやりながら、川や自然のなかで思い切りあそびました。



福島県いわき市での活動

「苗木 for いわき」プロジェクト

東日本大震災にともなう津波により、いわき市四倉～沼の内のクロマツの海岸林も大きな被害を受けました。美しい景観と、海岸林本来の機能を取り戻すために、クロマツを植林していく必要があります。しかし、膨大な苗木を必要とします。そこで、みなさまからの寄付を財源に苗木を購入し、市民の力で育て、植える「苗木 for いわき」プロジェクトを平成24年6月よりをスタートしました



活動① 海岸林の整備作業

枯れた松の片づけや、草刈り、除伐作業を行っています。平成25年度は、植林と合わせ 人のボランティアに現場での作業に参加いただきました。グループでの活動も増えました。約2haの整備ができました。



活動② 苗木を育てる

クロマツパートナーとして小学校、福祉施設など72団体に苗木の育成のご協力をいただきました。現地の様子を伝える貴重な機会にもなっています。



活動③ 植林

育てていただいた苗木を、整備が終わったところに植林しました。約2,500本の植林をすることができました。植林した苗木も育っています。



活動④ ファンドレイズ

初期に設定した300万円の寄付を達成することができました。様々な方法でファンドレイズにご協力いただきました。第二次目標として500万円（24,000本）に目標を修正しました。



平成25年度 現地での整備作業・植林作業にグループで参加いただいたみなさま

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| ○ アマゾンジャパン | ○ コマツユニオン小山支部 | ○ 連合栃木 |
| ○ オートテックジャパン | ○ 昭和電工ユニオン | ○ |
| ○ 上松山小学校 | ○ 藤間中学校 | ○ 喜連川中学校 |

いわき市で避難生活を送る方々と、木工クラフト交流会の開催

いわき市ではいまも20,000人を超える方が、避難生活を送っています。自然と触れ合う機会が減少している現状を受け、少しでも自然と触れ合える機会をつくことと、孤立しがちな避難生活で、少しでも交流の機会をつくろうと、木工クラフト交流会を開催しました。各地の交流サロンなどにご協力いただき、とくに、借り上げ住宅で避難生活を送られている方にむけて開催しました。この事業も、NPO法人いわきの森に親しむ会の皆さんと協力し実施しました。



15回開催

217人にご参加いただきました。



この事業は平成25年度地球環境基金特別助成を受け実施しました。



一緒に作ったもの(例)



まつぼっくりの鳥



えんぴつ



バランストンボ



木のイス



まつぼっくりの鳥



ホワイトボード



カドマツ



音のなる楽器

その他の活動

リーダートレーニングプログラムの開催

10月と、3月にそれぞれ1泊2日のリーダートレーニングプログラムを開催しました。現場でのリーダーになることを想定して、グループワーク、安全管理、作業技術などを学びました。14人に参加いただきました。



各種イベントへの参加、協力

栃木県で開催された各種イベントに参加させていただきました。参加した主なイベントは次の通りです。

- ・ 寄付ハイク
- ・ 美里学園祭
- ・ チャリティーウォーク 5 6 . 7
- ・ エコフェスタ
- ・ ファンドレイズ栃木
- ・ とちぎ県民フェスタ2013



メディア掲載

「苗木forいわき」プロジェクトでは新聞に3回掲載いただきました。

また、共に活動する団体の皆さんも「苗木forいわき」プロジェクトへの協力という形で新聞に掲載されました。



特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地
平成25年度 事業報告書

平成26年5月7日 発行

編集・発行 特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也

連絡先
特定非営利活動法人トチギ環境未来基地
〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢2584-1

TEL/FAX 0285-81-5373
E-mail tochigi@conservation-corps.jp
URL <http://conservation-corps.jp/tochigi/>

